



▲代表の園児から花束を受け取る横尾市長

横尾市長は、「今日はありがとうございました。みなさんも元気に頑張ってください」と笑顔で園児たちに言葉をかけ、お礼に折り紙セットを手渡しました。

いつもお仕事ありがとうございます

市内の保育園児が勤労感謝の訪問

勤労感謝の日を前に11月22日、市内11の保育園児代表のみなさんが市役所を訪れ、日頃の感謝を込めて横尾市長に花束を贈呈しました。

花束の贈呈は多久市保育協議会が毎年続けているもので、身近で働いている人や両親に感謝する気持ちが子どもたちに育ってほしいとの願いが込められています。

「いつもお仕事をありがとうございます」と園児たちの元気なあいさつに添えて、代表の園児から横尾市長に花束が贈呈されました。

多くの感動をありがとう！北部小学校

「北部小思い出の会」118年の歴史を振り返る

11月25日、今年度で閉校となる北部小の歴史を振り返る「北部小思い出の会」（実行委員長 不二見純之）が開かれ、約700人が参加しました。

6年生が「北小ヒストリー」として学校の歴史・変遷をスライドで紹介。遠足で天山に登っていたこと、あじさいの合言葉ができたこと、多いときで児童が2,700人いた時期があったことを紹介すると会場内から「懐かしい」と声が聞かれました。

卒業生代表の野田義雄さん（北多久町申川内）は「北部小の思い出は永遠！そういう思いをみんなで持ち続けましょう。北部小ご苦労様でした。多くの感動をありがとう」と母校への思いを語られ、最後に鼓笛隊演奏により全員で校歌を合唱。記念品として児童手作りの論語の言葉とあじさいの付いたしおりを、「いつまでも北部小を忘れないで」と一人ひとりに渡しました。

3月には、記念誌の発行や記念碑除幕式、校旗返納式も行われます。



▲最後は全員が立って校歌を合唱。忘れられない思い出の会となりました。

おめでとう柴田健二さん！ 背泳ぎ・自由形100m優勝

11月24日、25日に千葉県で幕張で開催された第29回日本身体障害者水泳選手権大会で柴田健二さん（東多久町）が自由形・背泳ぎ100mで見事優勝しました。

県営プールで練習を積み、縄跳びも練習メニューに加えて日々練習に励んでいる柴田さんは「自由形では、大学生の選手もいて緊張の中での大会となりましたが優勝できて嬉しいです。また5月の大会に向けて練習を積んでいきたいです」と次の目標に向けての抱負を語りました。



11/27

災害時に心強い味方となることを期待

避難所などでエコノミー症候群等の防止に役立つベッドを確保するため、「災害時における物資の供給に関する協定」を東多久町にある九州カートン株式会社と締結しました。ダンボール製のこのベッドは『暖段はこベッド』といい、東日本大震災をきっかけに、医師や被災者の声を聴き作られたもの。要請後3日以内で現地に届けられます。岩本英昭代表取締役社長から「この協定を結ぶことで、防災・減災対策のひとつになればと励んでいます」と、心強い言葉をいただきました。



11/20